

## 一般演題（口演）1

1月28日（木） 9:00～10:00 C会場（2F展示ホール）

## 自殺

座長：稲垣 正俊（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室）

- O1-1 自殺企図時の精神症状から考える統合失調症者の自殺予防 ―抑うつ気分に焦点をあてて―  
山口 大樹<sup>1)</sup>、藤井 千代<sup>2)</sup>、内野 敬<sup>1)</sup>、片桐 直之<sup>1)</sup>、辻野 尚久<sup>1)</sup>、根本 隆洋<sup>1)</sup>  
水野 雅文<sup>1)</sup>  
(東邦大学医学部精神神経医学講座<sup>1)</sup>、国立精神・神経医療研究センター<sup>2)</sup>)
- O1-2 行政との自殺未遂者支援事業において、チームによる支援を希望しなかった症例についての検討  
今村 隆<sup>1)</sup>、福岡 敏雄<sup>2)</sup>、漆谷 成悟<sup>3)</sup>、曾我比呂子<sup>4)</sup>  
(倉敷中央病院総合診療科<sup>1)</sup>、倉敷中央病院救命救急センター<sup>2)</sup>、倉敷中央病院救急科<sup>3)</sup>、倉敷中央病院医療福祉相談室<sup>4)</sup>)
- O1-3 ストレスケア病棟研究会所属病院における44000人の自殺企図調査  
松下 満彦<sup>1,2)</sup>、高田 和秀<sup>1,2)</sup>、松原 三郎<sup>3)</sup>、井口 喬<sup>4)</sup>、佐藤 恒夫<sup>5)</sup>、川嵯 弘詔<sup>2)</sup>、  
徳永雄一郎<sup>1)</sup>  
(不知火病院<sup>1)</sup>、福岡大学医学部精神医学教室<sup>2)</sup>、松原病院<sup>3)</sup>、戸田病院<sup>4)</sup>、草津病院<sup>5)</sup>)
- O1-4 精神科入院を用いた自殺危機介入とその効果について  
耕野 敏樹<sup>1,2)</sup>、小西 晶子<sup>1)</sup>、別所 和典<sup>1)</sup>、高瀬 真知<sup>1)</sup>、藤原 雅樹<sup>2)</sup>、中村友紀子<sup>2)</sup>、  
竹中 央<sup>1)</sup>、来住 由樹<sup>1)</sup>  
(岡山県精神科医療センター<sup>1)</sup>、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室<sup>2)</sup>)
- O1-5 東邦大学医療センター大森病院救命救急センターに搬送された自殺企図者の特徴 ―過量服薬に  
焦点を当てて―  
内野 敬<sup>1)</sup>、山口 大樹<sup>1)</sup>、武士 清昭<sup>1)</sup>、片桐 直之<sup>1)</sup>、辻野 尚久<sup>1)</sup>、根本 隆洋<sup>1)</sup>、  
藤井 千代<sup>2)</sup>、水野 雅文<sup>1)</sup>  
(東邦大学医学部精神神経医学講座<sup>1)</sup>、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰  
研究部<sup>2)</sup>)

## 一般演題（口演）2

1月28日（木） 10:00～11:00 C会場（2F展示ホール）

## 自殺・災害とメンタルヘルス

座長：佐竹 直子（国立精神・神経医療研究センター病院精神科）

- O2-1 自殺関連行動がある精神科患者への訪問看護による効果的な支援および課題 ―精神科医および  
未遂者支援実施自治体職員への調査  
廣川 聖子<sup>1,2)</sup>、竹島 正<sup>2)</sup>  
(首都大学東京健康福祉学部看護学科<sup>1)</sup>、川崎市健康福祉局障害保健福祉部<sup>2)</sup>)
- O2-2 岩手県における東日本大震災前後の自殺標準化死亡率の変化と社会指標との関連  
志賀 優<sup>1)</sup>、大塚耕太郎<sup>1,2)</sup>、遠藤 仁<sup>1)</sup>、本多 笑奈<sup>1)</sup>、佐藤 広隆<sup>1)</sup>、中村 光<sup>2)</sup>、  
酒井 明夫<sup>1)</sup>  
(岩手医科大学神経精神科学講座<sup>1)</sup>、岩手医科大学災害・地域精神医学講座<sup>2)</sup>)

- O2-3 常総市鬼怒川水害における、急性期の精神支援活動  
高橋 晶<sup>1,4)</sup>、太刀川弘和<sup>2)</sup>、今村 芳博<sup>1)</sup>、根本 清貴<sup>2)</sup>、鈴木 吏良<sup>1)</sup>、堀 孝文<sup>3)</sup>、  
新井 哲明<sup>2)</sup>、高橋 祥友<sup>1)</sup>  
(筑波大学医学医療系災害精神支援学<sup>1)</sup>、筑波大学医学医療系臨床精神医学<sup>2)</sup>、茨城県立こころの  
医療センター<sup>3)</sup>、筑波メディカルセンター病院精神科<sup>4)</sup>)
- O2-4 東日本大震災におけるこころのケア活動から見てきた被災者の心理的・社会的背景についての  
考察  
大類 真嗣、原田修一郎、田崎香菜子、佐藤 明子、高橋 由里、佐藤 晃子、塩見 亮輔、  
長谷川愛樹、渡辺美樹子、武石 純子、渡邊みゆき、大橋 雅啓、林 みづ穂  
(仙台市精神保健福祉総合センター)
- O2-5 福島県の被災地自治体職員のメンタルヘルスに関する調査  
植田由紀子<sup>1,2)</sup>、前田 正治<sup>1,2)</sup>、昼田源四郎<sup>1)</sup>  
(一般社団法人福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター<sup>1)</sup>、公立大学法人福島県立医科  
大学医学部災害こころの医学講座<sup>2)</sup>)

## 一般演題（口演）3

1月28日（木） 15:30～16:30 C会場（2F展示ホール）

## 地域精神保健・福祉①

座長：大場 義貴（聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科）

- O3-1 老年期における QOL と退職までの仕事態度の関連 — 「CASP19」尺度による検討—  
立瀬 剛志、花崎有紀子、藤森 純子、鈴木 道雄  
(富山大学地域医療・保健支援部門)
- O3-2 メンタルヘルス教育普及拠点をめざして ～「こころの病気を学ぶ授業」の実践と今後の展開～  
田淵 泰子  
(医療法人万成病院障害福祉サービス事業所多機能型事業所ひまわり)
- O3-3 家族会における初発時点での統合失調症患者の家族ニーズの実態調査  
鈴木 航太<sup>1,2)</sup>、山澤 涼子<sup>2)</sup>、新村 秀人<sup>1)</sup>、根本 隆洋<sup>3)</sup>、藤井 千代<sup>4)</sup>、村上 雅昭<sup>5)</sup>、  
三村 将<sup>1)</sup>、水野 雅文<sup>3)</sup>  
(慶應義塾大学医学部精神神経科学教室<sup>1)</sup>、医療法人財団厚生協会大泉病院<sup>2)</sup>、東邦大学医学部  
精神神経医学講座<sup>3)</sup>、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター<sup>4)</sup>、明治学院大学社会  
学部<sup>5)</sup>)
- O3-4 ユース・メンタルサポートセンター MIE の精神保健教育プログラムの効果  
山本 綾子、前川 早苗、栗田 弘二、森川 将行  
(三重県立こころの医療センターユース・メンタルサポートセンター MIE)
- O3-5 精神科看護師におけるワーク・ファミリー・コンフリクトと精神的健康に関する研究  
菅原 典夫<sup>1,2)</sup>、檀上 和真<sup>3)</sup>、古郡 華子<sup>4)</sup>、佐藤 靖<sup>2,5)</sup>、富田 哲<sup>2,6)</sup>、藤井 学<sup>7)</sup>、  
中神 卓<sup>8)</sup>、古郡 規雄<sup>2)</sup>  
(青森県立精神保健福祉センター<sup>1)</sup>、弘前大学大学院神経精神医学講座<sup>2)</sup>、溝口病院<sup>3)</sup>、黒石あけ  
ぼの病院精神科<sup>4)</sup>、むつ総合病院メンタルヘルス科<sup>5)</sup>、弘前愛成会病院精神科<sup>6)</sup>、西北中央病院  
精神科<sup>7)</sup>、大館市立総合病院神経精神科<sup>8)</sup>)

一般演題（口演）4 1月28日（木） 16:30～17:30 C会場（2F展示ホール）

地域精神保健・福祉②

座長：西尾 雅明（東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科）

- O4-1 岡山県精神保健福祉センターにおけるアウトリーチ支援の有効性の考察  
 佐藤 俊介<sup>1)</sup>、山内 泰彦<sup>1)</sup>、守屋 昭<sup>1,2)</sup>、野口 正行<sup>1)</sup>  
 （岡山県精神保健福祉センター精神科<sup>1)</sup>、まきび病院精神科<sup>2)</sup>）
- O4-2 未治療・医療中断の精神障害者への支援の実際 ～アウトリーチと連動した短期宿泊事業を活用しての考察～  
 岡田 有子、小川 綾子、江口 孝文、宮崎裕美子、望月 恵子、鹿野 朗、水野 佳子、  
 西 いづみ、石黒 雅浩、野津 眞  
 （東京都立中部総合精神保健福祉センター地域支援科）
- O4-3 統合失調症長期入院患者の地域移行支援における生命予後と検査所見との関連について  
 喜田 恒<sup>1,2)</sup>、新村 秀人<sup>1)</sup>、根本 隆洋<sup>3)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、佐久間 啓<sup>2)</sup>、水野 雅文<sup>3)</sup>  
 （慶應義塾大学医学部精神神経科学教室<sup>1)</sup>、医療法人安積保養園あさかホスピタル<sup>2)</sup>、東邦大学  
 医学部精神神経医学講座<sup>3)</sup>）
- O4-4 措置入院から退院後1年以上の地域生活を継続している統合失調症患者の生活の現状 ～地域生活を継続できる支援の検討～  
 松本 東、岸田 栞、的場 威、澤井 優輝、前川 順一  
 （三重県立こころの医療センター）
- O4-5 代弁者（アドボケーター）制度の実現に向けて —「精神障がい者アドボケーター派遣事業」の実践から—  
 藤田 健三<sup>1)</sup>、野口 正行<sup>2)</sup>、長崎 和則<sup>3)</sup>、武内 陽子<sup>3)</sup>、宮宇地雄介<sup>3)</sup>、綾部小百合<sup>4)</sup>、  
 井上 雅雄<sup>5)</sup>、大淵 卓子<sup>6)</sup>、河合 宏<sup>7)</sup>、小柴 雅史<sup>8)</sup>、多田 伸志<sup>9)</sup>、本田 政憲<sup>10)</sup>  
 （岡山県精神保健福祉協会<sup>1)</sup>、岡山県精神保健福祉センター<sup>2)</sup>、川崎医療福祉大学<sup>3)</sup>、岡山県精神  
 障害者家族会連合会<sup>4)</sup>、おかやま入居支援センター<sup>5)</sup>、岡山高齢者・障害者支援ネットワーク<sup>6)</sup>、  
 こころの医療たいようの丘ホスピタル<sup>7)</sup>、スピーカーズ・ビューロー岡山<sup>8)</sup>、岡山マインド  
 「こころ」<sup>9)</sup>、旭川荘厚生専門学院<sup>10)</sup>）

一般演題（口演）5 1月29日（金） 9:00～10:00 C会場（2F展示ホール）

気分障害

座長：森本 清（公益財団法人仁和会ももの里病院）

- O5-1 病相期と一致しにくい若年層うつ病の希死念慮  
 徳永雄一郎<sup>1)</sup>、松下 満彦<sup>1)</sup>、松本 進<sup>1)</sup>、中野 心介<sup>1)</sup>、杉本 浩利<sup>1)</sup>、竹下 景子<sup>1)</sup>、  
 原田 康平<sup>2)</sup>  
 （不知火病院<sup>1)</sup>、福岡大学医学部精神医学教室<sup>2)</sup>）
- O5-2 精神科病院における多職種チームによるうつ病治療の実践  
 山田香代子、平田 寿美、大久保 穰、渡邊 伸吾、大槇 薫、城島 知美、半田 貴士、  
 山澤 涼子  
 （医療法人財団厚生協会大泉病院）

- O5-3 ソーシャルサポートの提供が抑うつに及ぼす影響の検討：主観的幸福感を媒介要因として  
石井 綾華<sup>1,2)</sup>、山崎 修道<sup>2)</sup>、石井 寛<sup>1)</sup>、須田 一貴<sup>1)</sup>  
(特定非営利活動法人 Light Ring<sup>1)</sup>、公益財団法人東京都医学総合研究所心の健康プロジェクト<sup>2)</sup>)
- O5-4 チェックリストの活用から始めた鳥取県職員におけるメンタルヘルス対策  
原田 豊<sup>1)</sup>、渡部 一恵<sup>1,2)</sup>  
(鳥取県立精神保健福祉センター<sup>1)</sup>、前、鳥取県行財政改革局福利厚生課<sup>2)</sup>)
- O5-5 急性期治療入院棟におけるうつ病・自殺リスクの高い入院患者を中心とした作業療法  
片芝 智絵、日笠 美孝、耕野 敏樹、大東 真弓、工藤 真紀、谷口 斐香  
(岡山県精神科医療センター)

## 一般演題（口演）6

1月29日（金） 10:00～11:00 C会場（2F展示ホール）

## 精神医療システム・リカバリー

座長：下寺 信次（高知大学医学部精神神経科学教室）

- O6-1 リカバリー志向型 SDM 支援システム『SHARE』を用いた実践モデルとその効果 -利用者アンケートの声から  
種田 綾乃<sup>1)</sup>、松長 麻美<sup>1)</sup>、山口 創生<sup>1)</sup>、坂本 麻依<sup>2)</sup>、澤田優美子<sup>3)</sup>、福井 里江<sup>2)</sup>、久永 文恵<sup>4)</sup>、坂田 増弘<sup>5)</sup>、佐竹 直子<sup>5)</sup>、大島 真弓<sup>5)</sup>、関根 理絵<sup>5)</sup>、藤田 英親<sup>6)</sup>、岡本 和子<sup>6)</sup>、伊藤順一郎<sup>1,7)</sup>  
(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰研究部<sup>1)</sup>、東京学芸大学<sup>2)</sup>、日本社会事業大学<sup>3)</sup>、地域精神保健福祉機構コンボ<sup>4)</sup>、国立精神・神経医療研究センター病院<sup>5)</sup>、国分寺すずかけ心療クリニック<sup>6)</sup>、メンタルヘルス診療所しっぽふぁ〜れ<sup>7)</sup>)
- O6-2 精神疾患を有する当事者が Shared Decision-Making の手法で治療方針を決定するプロセス  
青木 裕見<sup>1,2)</sup>、古野 毅彦<sup>2,3)</sup>、渡邊衡一郎<sup>2,4)</sup>、萱間 真美<sup>5)</sup>  
(聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程<sup>1)</sup>、早稲田大学保健センターこころの診療室<sup>2)</sup>、独立行政法人国立病院機構東京医療センター精神科<sup>3)</sup>、杏林大学医学部精神・神経科学教室<sup>4)</sup>、聖路加国際大学精神看護学<sup>5)</sup>)
- O6-3 慢性化した精神疾患患者における地域定着率と平均在宅日数による評価  
清水 隆明<sup>1)</sup>、安福 香里<sup>2)</sup>、森川 公彦<sup>2)</sup>、松本 安治<sup>3)</sup>  
(山陽女子短期大学人間生活学科<sup>1)</sup>、岡山県精神科医療センター診療情報管理室<sup>2)</sup>、岡山県精神科医療センター事務部<sup>3)</sup>)
- O6-4 都市部における精神科入院患者の受診動向予測とハフモデル適用による分析の試み  
森川 公彦、安福 香里、井上 朋美  
(岡山県精神科医療センター診療情報管理室)
- O6-5 精神科医療における行動制限最小化 -精神科医療を電子的に観察する PECO システム利用と課題-  
服部 朝代  
(地方独立行政法人岡山県精神科医療センター)

一般演題（口演） 7 1月29日（金） 11:00～12:00 B会場（2Fレセプションホール）

アルコール・依存症

座長：松本 洋輔（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学教室）

O7-1 物質使用障害とその他の精神障害を併せ持つ者への集団認知行動療法プログラムの有効性の検討  
- 精神病性併存性障害を中心に -

池田 朋広<sup>1,2,3)</sup>、常岡 俊昭<sup>1,2)</sup>、松本 俊彦<sup>3)</sup>、高木のり子<sup>2)</sup>、石坂 理江<sup>2)</sup>、種田 綾乃<sup>4)</sup>、  
小池 純子<sup>1,5)</sup>、齋藤 勲<sup>6,7)</sup>、森田 展彰<sup>8)</sup>、稲本 淳子<sup>1,9)</sup>、岩波 明<sup>1,2)</sup>

(昭和大学医学部精神医学講座<sup>1)</sup>、昭和大学附属烏山病院<sup>2)</sup>、国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所薬物依存研究部<sup>3)</sup>、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰  
研究部<sup>4)</sup>、自治医科大学看護学部精神看護学<sup>5)</sup>、昭和大学薬学部病院薬剤学教室<sup>6)</sup>、独立行政法  
人医薬品医療機器総合機構安全第二部<sup>7)</sup>、筑波大学大学院医療医学系社会精神保健学分野<sup>8)</sup>、  
昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター<sup>9)</sup>)

O7-2 飲酒チェックツール SNAPPY シリーズ

角南 隆史<sup>1)</sup>、杠 岳文<sup>2)</sup>、樋口 進<sup>3)</sup>

(地方独立行政法人岡山県精神科医療センター<sup>1)</sup>、独立行政法人国立病院機構肥前精神医療  
センター<sup>2)</sup>、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター<sup>3)</sup>)

O7-3 一般精神科病院におけるアディクション治療のニーズの調査

常岡 俊昭<sup>1,2)</sup>、池田 朋宏<sup>1,2)</sup>、杉沢 諭<sup>1,3)</sup>、藤澤 尚子<sup>1,4)</sup>、石坂 理江<sup>1,5)</sup>、大野 泰正<sup>1,2)</sup>、  
松崎 明香<sup>1,2)</sup>、佐賀 信之<sup>1,2)</sup>、佐藤 和也<sup>1,5)</sup>、縄田 琴<sup>1,5)</sup>、砂盃 健太<sup>1,5)</sup>、新井 豪佑<sup>1,2)</sup>、  
池田 勝之<sup>1,5)</sup>、稲本 淳子<sup>1,2)</sup>

(昭和大学附属烏山病院<sup>1)</sup>、昭和大学医学部精神医学講座<sup>2)</sup>、昭和大学薬学部病院薬剤学講座<sup>3)</sup>、  
作業療法室<sup>4)</sup>、看護部<sup>5)</sup>)

O7-4 併存性障害認知行動療法プログラム参加者の予後に関する調査

縄田 琴<sup>1,2)</sup>、常岡 俊昭<sup>1,3)</sup>、池田 朋宏<sup>1,3)</sup>、杉沢 諭<sup>1,4)</sup>、石坂 理江<sup>1,2)</sup>、佐藤 和也<sup>1,2)</sup>、  
砂盃 健太<sup>1,2)</sup>、藤澤 尚子<sup>1,5)</sup>、松崎 明香<sup>1,3)</sup>、大野 泰正<sup>1,3)</sup>、佐賀 信之<sup>1,3)</sup>、土岐 幸生<sup>1,3)</sup>、  
池田 勝之<sup>1,2)</sup>、稲本 淳子<sup>1,2)</sup>

(昭和大学附属烏山病院<sup>1)</sup>、看護部<sup>2)</sup>、昭和大学精神医学講座<sup>3)</sup>、昭和大学薬学部病院薬剤学講座<sup>4)</sup>、  
作業療法室<sup>5)</sup>)

O7-5 大学生のギャンブル障害に関する調査（第2報）

田中 速

(東京成徳大学応用心理学部臨床心理学科)

一般演題（口演） 8 1月29日（金） 11:00～12:00 C会場（2F展示ホール）

児童・青年期

座長：大重 耕三（岡山県精神科医療センター）

O8-1 不登校の児童に適切な精神医療は用意されているのか

稲垣 貴彦<sup>1)</sup>、田中 恒彦<sup>1)</sup>、丸川 里美<sup>2)</sup>、田中 千賀<sup>3)</sup>、守澤絵里香<sup>3)</sup>、松木 葵<sup>3)</sup>、  
中林 孝夫<sup>4)</sup>、栗山 健一<sup>2)</sup>、山田 尚登<sup>1,2)</sup>

(滋賀医科大学地域精神医療学講座<sup>1)</sup>、滋賀医科大学精神医学講座<sup>2)</sup>、滋賀医科大学医学部医学  
科<sup>3)</sup>、滋賀医科大学医学部附属病院精神科<sup>4)</sup>)

- O8-2 「オタク」的消費活動と心理的傾向性の関連について  
 山上 尚彦、斎藤 環  
 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
- O8-3 いじめの体験が思春期の若者の精神的健康に及ぼす影響に関する研究  
 小笹 祥子<sup>1)</sup>、生地 新<sup>2)</sup>  
 (北里大学大学院医療系研究科博士課程<sup>1)</sup>、北里大学大学院医療系研究科<sup>2)</sup>)
- O8-4 ネコ表情テスト作成のための予備調査  
 簗下 成子<sup>1)</sup>、佐藤 唯<sup>2)</sup>、佐藤 親次<sup>3)</sup>  
 (川村学園女子大学<sup>1)</sup>、筑波心理科学研究所<sup>2)</sup>、筑波社会精神医学研究所<sup>3)</sup>)
- O8-5 ひきこもり状態の子どもと同居する家族の高齢化と支援ニーズに関する研究(2) - 多変量解析と事例検討を中心に  
 斎藤 環、森田 展彰、大谷 保和  
 (筑波大学医学医療系社会精神保健学)

一般演題（口演）9 1月29日（金）13:30～14:30 B会場（2Fレセプションホール）

## 老年期・認知症

座長：中田 謙二（こころの医療たいようの丘ホスピタル）

- O9-1 認知症と運転一待ったなしの問題  
 上村 直人  
 (高知大学精神科)
- O9-2 地域生活する高齢精神障害者の身体・認知機能と主観  
 新村 秀人<sup>1,2)</sup>、喜田 恒<sup>1,2)</sup>、渡邊 忠義<sup>2,3)</sup>、三浦百合子<sup>3)</sup>、梁取 夕季<sup>3)</sup>、  
 中澤 彩花<sup>2)</sup>、海老原蓉子<sup>2)</sup>、佐久間 啓<sup>2)</sup>、三村 将<sup>1)</sup>、水野 雅文<sup>4)</sup>  
 (慶應義塾大学医学部精神神経科学教室<sup>1)</sup>、医療法人安積保養園あさかホスピタル<sup>2)</sup>、NPO 法人  
 アイ・キャン<sup>3)</sup>、東邦大学医学部精神神経医学講座<sup>4)</sup>)
- O9-3 精神科病院に入院した認知症高齢者のBPSDに関連する要因の検討  
 塩田 繁人<sup>1,2,3)</sup>、杉本 優輝<sup>1)</sup>、柴田 克之<sup>2)</sup>、日野 昌力<sup>3)</sup>、北村 立<sup>3)</sup>  
 (石川県立高松病院作業療法科<sup>1)</sup>、金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻<sup>2)</sup>、石川県立高松病院  
 診療部<sup>3)</sup>)
- O9-4 高齢化しつつある精神障害者の地域ケアにおける支援ニーズ  
 三浦百合子<sup>1)</sup>、梁取 夕季<sup>1)</sup>、大和田春枝<sup>1)</sup>、鈴木美智子<sup>1)</sup>、中塚トシ子<sup>1)</sup>、和里 恵子<sup>1)</sup>、  
 渡邊 忠義<sup>1,2)</sup>、新村 秀人<sup>2,3)</sup>  
 (NPO法人アイ・キャン<sup>1)</sup>、医療法人安積保養園あさかホスピタル<sup>2)</sup>、慶應義塾大学医学部精神  
 神経科学教室<sup>3)</sup>)

- 9-5 認知機能低下および貧困をもつ高齢者：生活困窮者共同居住施設の高齢利用者の精神医学的評価から  
岡村 毅<sup>1,2,4)</sup>、粟田 圭一<sup>2)</sup>、井藤 佳恵<sup>3)</sup>、瀧脇 憲<sup>4)</sup>、的場 由木<sup>4)</sup>、立森 久照<sup>5)</sup>、  
竹島 正<sup>6)</sup>  
(東京大学医学部精神神経科<sup>1)</sup>、東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と介護予防研究  
チーム<sup>2)</sup>、東京都立松沢病院精神科<sup>3)</sup>、NPO 法人自立支援センターふるさとの会<sup>4)</sup>、国立精神・  
神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部<sup>5)</sup>、川崎市健康福祉局障害保健福祉  
部<sup>6)</sup>)

## 一般演題（口演）10

1月29日（金） 13:30～14:30 C会場（2F展示ホール）

## 社会復帰・ディケア

座長：武田 俊彦（公益財団法人慈主会慈主病院）

- 10-1 社会復帰支援に着目した訪問看護の取り組み  
長戸沙央里、橋満 理恵、石神 弘基、佐藤康治郎  
(地方独立行政法人岡山県精神科医療センター)
- 10-2 岡山県精神科医療センターにおける初回エピソード統合失調症患者への包括的支援の検証  
佐藤康治郎、吉村 文太、初島 日美、石神 弘基、来住 由樹  
(岡山県精神科医療センター)
- 10-3 認知機能リハビリテーションと ADL プログラムの併用利用の可能性  
大槇 薫<sup>1,2)</sup>、菊池香奈子<sup>1)</sup>、山田香代子<sup>1)</sup>、石井 祥子<sup>1)</sup>、渡辺 伸吾<sup>1)</sup>、根本 隆洋<sup>2)</sup>、  
山澤 涼子<sup>1)</sup>  
(医療法人財団厚生協会大泉病院<sup>1)</sup>、東邦大学医学部精神神経医学講座<sup>2)</sup>)
- 10-4 精神科病院における成人 ASD 患者に対する就労準備プログラムの効果 ～個々の準備性への  
気づきはどのように促進されるか？～  
西村 大樹、小西 菜緒、赤澤 将文、内田 晃裕、土岐 淑子、耕野 敏樹、来住 由樹  
(地方独立行政法人岡山県精神科医療センター)
- 10-5 統合失調症の急性期における認知リハビリテーションとその可能性  
根本 隆洋<sup>1)</sup>、武士 清昭<sup>1)</sup>、戸部 美起<sup>1)</sup>、新村 秀人<sup>2)</sup>、伊藤 亮介<sup>3)</sup>、小島 瑛子<sup>1)</sup>、  
伊庭 恵未<sup>1)</sup>、田中 友紀<sup>1)</sup>、船渡川智之<sup>1)</sup>、山口 大樹<sup>1)</sup>、片桐 直之<sup>1)</sup>、辻野 尚久<sup>1)</sup>、  
水野 雅文<sup>1)</sup>  
(東邦大学医学部精神神経医学講座<sup>1)</sup>、慶應義塾大学医学部精神神経科学教室<sup>2)</sup>、船橋市立船橋  
特別支援学校<sup>3)</sup>)

## 一般演題（口演）11

1月29日（金） 14:30～15:30 B会場（2Fレセプションホール）

## 地域精神保健・福祉③

座長：小林建太郎（特定医療法人万成病院）

- 11-1 愛媛県八幡浜保健所における精神事案の現状と課題  
木原 久文  
(愛媛県八幡浜保健所健康増進課)

## O11-2 精神科事前指示制度の臨床実践

渡邊 理<sup>1,3)</sup>、藤井 千代<sup>2)</sup>、佐久間 啓<sup>1,3,5)</sup>、新村 秀人<sup>1,3)</sup>、山口 大樹<sup>5)</sup>、安藤久美子<sup>2)</sup>、岡田 幸之<sup>2,4)</sup>、三村 将<sup>3)</sup>、水野 雅文<sup>5)</sup>

(医療法人安積保養園附属あさかホスピタル<sup>1)</sup>、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所<sup>2)</sup>、慶應義塾大学精神・神経科学教室<sup>3)</sup>、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科<sup>4)</sup>、東邦大学医学部精神神経医学講座<sup>5)</sup>)

## O11-3 精神科デイケアでの広汎性発達障害圏の利用者への CES プログラムの効果

荒井 力<sup>1)</sup>、渡邊 倫子<sup>1)</sup>、池田寿賀子<sup>1)</sup>、石津谷麻美<sup>1)</sup>、五十嵐 雅<sup>1)</sup>、森本 隆史<sup>1)</sup>、川田 深志<sup>1)</sup>、熊谷 直樹<sup>1)</sup>、中村 干城<sup>2)</sup>

(東京都立多摩総合精神保健福祉センター生活訓練科<sup>1)</sup>、江戸川大学<sup>2)</sup>)

## O11-4 統合失調症患者本人から家族が受ける暴力への対処の実態

中村由嘉子<sup>1)</sup>、蔭山 正子<sup>2)</sup>、横山 恵子<sup>3)</sup>、小林 清香<sup>4)</sup>、飯塚 壽美<sup>5)</sup>、岡田久美子<sup>5)</sup>、佐藤美樹子<sup>5)</sup>、藤井 千代<sup>6)</sup>

(名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野<sup>1)</sup>、東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野<sup>2)</sup>、埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科<sup>3)</sup>、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会精神保健研究部<sup>4)</sup>、埼玉県精神障害者家族会連合会<sup>5)</sup>、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所社会復帰研究部<sup>6)</sup>)

## O11-5 身体科からの精神科往診依頼を受けて一依頼を受けてからの流れと現場の看護一

牧野 晴子、荒金 淳子、坂本 佳子

(岡山県精神科医療センター)

一般演題（口演）12 1月29日（金）15:30～16:30 B会場（2Fレセプションホール）

## 司法関連等

座長：五十嵐禎人（千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部）

## O12-1 ハイリスク者の自殺未遂を阻止できなかった事例の検討

木下 浩、長田 弘子

(日本司法書士会連合会日司連市民の権利擁護推進室自殺問題対策部会)

## O12-2 自閉スペクトラム症における責任能力の検討 ～自閉スペクトラム症の司法鑑定事例から～

原田 豊

(鳥取県立精神保健福祉センター)

## O12-3 触法精神障害者家族に対する効果的な支援の検討 一医療観察法患者家族と措置入院患者家族の比較から一

小池 治<sup>1)</sup>、小池 純子<sup>2,3)</sup>、稲本 淳子<sup>3,4)</sup>、池田 朋広<sup>3,5)</sup>、常岡 俊昭<sup>3,5)</sup>、加藤 邦彦<sup>1)</sup>、黒田 治<sup>1)</sup>、半澤 節子<sup>2)</sup>、中谷 陽二<sup>6)</sup>

(東京都立松沢病院<sup>1)</sup>、自治医科大学看護学部<sup>2)</sup>、昭和大学医学部精神医学講座<sup>3)</sup>、昭和大学横浜市北部病院<sup>4)</sup>、昭和大学附属烏山病院<sup>5)</sup>、クボタクリニック<sup>6)</sup>)

O12-4 医療観察法入院医療におけるクライシス・プランの内容についての検討 —Joint Crisis Plan との比較から—

野村 照幸<sup>1,2)</sup>、森田 展彰<sup>3)</sup>、大谷 保和<sup>3)</sup>、宮尾 歩<sup>1)</sup>、岩崎 美沙<sup>1)</sup>、斎藤 環<sup>3)</sup>

(国立病院機構さいがた医療センター<sup>1)</sup>、筑波大学大学院人間総合科学研究科<sup>2)</sup>、筑波大学医学医療系<sup>3)</sup>)

O12-5 医療観察法による通院処遇を終えた対象者の治療継続状況とは？

中澤佳奈子<sup>1)</sup>、安藤久美子<sup>1)</sup>、曾雌 崇弘<sup>1)</sup>、岡田 幸之<sup>1,2)</sup>

(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター<sup>1)</sup>、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学分野<sup>2)</sup>)